

## 第26回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

日時：平成27年1月23日(金)午後2時30分から

場所：京都府立大学 図書館3階 視聴覚室

講師：藤崎 真吾（東邦大学理学部 教授）

「細菌の細胞壁合成における長鎖アルコール・ウンデカプレノールの役割」

参加者：学部学生、大学院学生、教員

参加者総数：約 20 名

講演では、大腸菌をはじめとする細菌の細胞壁合成のリピドサイクル構成酵素とリピドサイクル反応の細胞内局在について、過去から現在に至る解明の歴史と、最後は、黄色ブドウ球菌の薬剤耐性における細胞壁合成との関連について、わかりやすくお話しいただいた。

参加者は、生命分子化学科 3回生を含む、約 20 名が、熱心に聴講した。講演後、糖、ペプチドやリン酸を結合したリピドが、膜を横切って輸送されるしくみ など活発な質疑応答があり、盛況のうちに午後3時45分に同セミナーは終了した。

(石畠 純男)